

【イベント案内】

県立宮ヶ瀬ビジターセンター

- 自然教室「春ノ木丸で大冒険！」
内容：ケモノ道歩きに挑戦したり、隠れるように咲く早春の花を探しながら、春ノ木丸に登ろう！
日時：3月16日（日） 10:00～15:00
集合解散：宮ヶ瀬ビジターセンター
対象：小学生とその保護者 20名
参加費：1人 800円
申込方法：はがき又はFAXに行事名・参加者全員の氏名・年齢・住所・電話番号を記入し宮ヶ瀬ビジターセンターまで
締切：3月1日（土）必着

県立秦野ビジターセンター

- 企画展「丹沢 みどころ紹介 ～スタッフ山行の記録から～」
内容：四季折々の丹沢の自然の様子をのぞいてみませんか？ たくさんの写真で山の風景や生きものなどを紹介します。
開催期間：1月25日（土）～3月30日（日）
開催場所：秦野ビジターセンター展示室
*入館無料、開館中はいつでも自由にご覧いただけます。
- 自然教室「考えよう！自然にやさしい山歩き」
内容：登山道整備のプチボランティア体験！丹沢の自然や現状について登山しながら楽しくお伝えします。
開催日時：2月23日（日）9:15～16:00頃
場所：秦野ビジターセンターと大倉尾根一本松付近まで（標高差約490m）
定員：中学生以上 25名
*中学生は保護者同伴 *応募者多数の場合は抽選
参加費：1人 1,500円（保険代込）
申込方法：往復はがきに行事名、参加者全員の氏名・年齢・住所・電話番号を記入し秦野ビジターセンターまで。
締切：2月6日（木）必着
*持ち物等の詳細は締切後返信にてご案内します。

箱根ビジターセンター

- 写真展「国立公園・野生生物フォトコレクション＜アクティブレンジャー写真展＞」
内容：関東地方の国立公園、国指定鳥獣保護区で活動するアクティブレンジャーが撮影した写真で、雄大な自然や動植物など各地域の様子をご紹介します。
開催期間：1月4日～1月26日
開催場所：箱根ビジターセンター
主催：環境省 関東地方環境事務所

県立丹沢湖ビジターセンター

- 自然教室「野鳥観察はじめの一歩」
内容：初めての方を対象に、丹沢湖周辺でのんびり冬鳥などを観察します。
開催日時：2月8日（土） 9:30～15:30頃
集合：三保ダムサイト駐車場
解散：丹沢湖ビジターセンター
対象：小学生以上20名
*小学生は保護者同伴 *応募者多数の場合には抽選
参加費：1人 1,000円（保険代、資料代など）
その他：午前と午後で場所を移動します。自家用車以外の方は、別途バス代240円がかかります。
申込方法：往復はがき又はFAXに行事名・参加者全員の氏名・年齢・住所・電話番号（返信先FAX番号）を記入し丹沢湖ビジターセンターまで。
締切：1月27日（月）必着
- 企画展「無人撮影が捉えた丹沢の生き物」
内容：普通には目にすることが難しい丹沢に生息する野生動物についてセンサーカメラで撮影された写真や剥製を通して紹介します。
協力：神奈川県自然環境保全センター、神奈川県立生命の星・地球博物館
開催期間：1月11日（土）～3月31日（日）
開催場所：1階 図書情報コーナー
*入館無料、開館中はいつでも自由にご覧いただけます。

自然公園へ出かけよう



休館日のお知らせ
 県立ビジターセンター：月曜日（祝日開館）、祝日翌日（土日開館）
 1～3月第2木曜日（祝日開館）
 年末年始（12/29～1/3）
 箱根ビジターセンター：6月第2水曜日とその翌日、
 年末年始（12/28～1/1）

県立宮ヶ瀬ビジターセンター

〒243-0111 清川村宮ヶ瀬940-15
 Te1046-288-1373 Fax046-288-1162
 開館時間 9:00～16:30
 (1/4～2/28は16:00閉館)
<http://www.kanagawa-park.or.jp/miyagase/>

県立秦野ビジターセンター

〒259-1304 秦野市堀山下1513
 Te10463-87-9300 Fax0463-87-9311
 開館時間 9:00～16:30（通年）
<http://www.kanagawa-park.or.jp/hadanovc/>

県立陣馬自然公園センター

〒229-0201 相模原市緑区佐野川1659-3
 Te10426-87-5270 Fax0426-87-5270
 開館時間 9:00～16:30
 (12/1～3/31は16:00閉館)
<http://www.kanagawa-park.or.jp/jinba-vc/>

県立丹沢湖ビジターセンター

〒258-0202 足柄上郡山北町玄倉515
 Te10465-78-3888 Fax0465-78-3777
 開館時間 9:00～16:30
 (1/4～2/28は16:00閉館)
<http://www.kanagawa-park.or.jp/tanzawakovc/>

県立西丹沢自然教室

〒258-0201 足柄上郡山北町中川1867-2-9
 Te10465-78-3940 Fax0465-78-3940
 開館時間 8:30～16:30
 (12/1～3/31は16:00閉館)
<http://www.kanagawa-park.or.jp/nishitanzawa/>

環境省箱根ビジターセンター

〒250-0522 足柄下郡箱根町元箱根164
 Te10460-84-9981
 開館時間 9:00～17:00（入館は16:30まで）
<http://www.mmjp.or.jp/HakoneVisitorCenter/>

編集・発行：公益財団法人 神奈川県公園協会 〒231-0027 横浜市中区扇町3-8-8 関内ファーストビル6階
 TEL: 045-651-0931 FAX: 045-651-0932
 公園課(自然公園担当): sizenkouen@kanagawa-park.or.jp ホームページ <http://www.kanagawa-park.or.jp/>
 後援：丹沢大山自然再生委員会

神奈川県公園協会 検索

2014
 1・2月号
 No.108

～自然公園から季節のたよりをお届けします～
神奈川県自然公園だより
 丹沢大山国定公園 県立丹沢大山自然公園 県立陣馬相模湖自然公園 富士箱根伊豆国立公園

馬頭観音と いにしえの道 丹沢湖ビジターセンター



丹沢湖から玄倉集落をのぞく

新しい年に少し昔の話をしましょう。丹沢湖周辺はかつて三保村と言われ、^{みほむら}玄倉・^{くろくら}中川・^{よづく}世附の^{おくやまがさんかぞん}三つの集落は奥山家三ヶ村と言われていました。昔の人々にとって、この村が山深い場所だと認識していたことが伺える名前ですね。山北から奥山家三ヶ村へと続く交通の要が「奥山家道」です。この古道は「かながわの古道50選」にも指定され、今でも当時の面影を見ることが出来ます。それは馬頭観音です。

昭和の初め頃まで、馬は畑を耕したり、荷物を運ぶための手段として大切な家畜でした。愛馬が事故死や病死をすると、供養のために馬頭観音が建立されたそうです。山北町には道祖神や地藏菩薩など、たくさんの石像がありますが、馬頭観音が一番多く存在するそうです。馬の顔を頭に掲げた観音様はどれも温かみがあって、こちらも思わず微笑んでしまいます。

馬頭観音は、山北から大野山へと続く道沿い（奥山家道）や高松山の登山口などで見ることが出来ます。冬の低山ハイクを楽しみながら、探してみたいいかがでしょうか。（長澤）



高松山の登山道



登山道沿いにある馬頭観音

季節の変化を楽しむ登山



～春～ 萌黄色の新緑(5月)



～夏～ 鬱蒼と生い茂る木々(8月)



～秋～ 色づき始めた山肌(10月)



～冬～ 冬枯れと積雪(1月)

※撮影場所…塔ノ岳から新大日方面

2014年がスタートしました!1年が経つのはあっという間。特に自然の様子は目まぐるしく変わってゆき、木々の芽吹きが始まったかと思うと、続々と季節の花が咲き、紅葉が始まり、あっという間に冬景色です。あの花の写真を撮りに行きたかったのに…、あの山の紅葉が見たかったのに…。新年へ持ち越しの課題が山積みになることも。自然観察にも計画性が大切だと痛感します。

丹沢の4ヶ所に設置されたビジターセンターでは、それぞれのエリアの問い合わせの多い登山ルートを中心に歩き、自然情報が収集できるように努めています。自然の様子を撮影し、館内の展示やホームページなどに活用しています。

後で写真を見ていると、決めたわけではないのにいつも同じ場所で写真を撮

っていることに気づきます。今回のこの写真も気がつけば四季を通して撮影していました。きっとそこはお気に入りの撮影スポットなのかも知れません。みなさんもそんな場所を見つけて丹沢の四季を見つめる山歩きを楽しんでみませんか?

秦野ビジターセンターでは、自然情報収集の際に撮影した写真を展示している「丹沢 みどころ紹介～スタッフ山行の記録から～」を約1年分ふり返ってご紹介する企画展を1月25日～3月30日まで開催します。丹沢の四季を通じた山の風景や生きものたちの様子をぜひじっくりご覧ください。お待ちしております!(村上)

秦野ビジターセンター

今年は午年！陣馬山で開運登山



陣馬山山頂



一ノ尾根方向から山頂を見る

新年、明けましておめでとうございます。今年は、まず何処の山に行こうか悩んでいる方がいたら、是非!陣馬山をおすすめします。本年は午年でもあるので登り初めにはもってこいです。冬の澄んだ冷たい空気のなか関東平野を一望し、世

界遺産の富士山を望み山頂の白馬像を見れば開運間違いなし!の登山となる事でしょう。

冬の陣馬山は低山とはいえ雪が多いときは30cm以上積もることもあります。また、雪融けや霜融けで登山道が凍ったりぬかるんだりといへん歩きにくくなりますので注意が必要です。冬の装備をしっかりと開運登山にお越し下さい。(清水)

陣馬自然公園センター



山頂から望む富士山

霧氷

丹沢に冬がやってきました。11月中旬に高所では初雪が降り、西丹沢自然教室周辺では初霜が降りました。

冬になると山から下りてきて『今日は霧氷を見られました。』と笑顔でおっしゃられる方と『今度こそ霧氷を見たいのですがいつなら見られますか。』という質問をされる方がいらっしゃいます。ツツジや紅葉と並んで人気がある霧氷。しかし霧氷は晴れると一日で融けてしまうので、なかなかタイミングよく見る事ができません。

霧氷が見られる可能性が高い時期は12月から翌年2月です。場所は西丹沢自然教室周辺では檜洞丸や大室山の山頂付近で見られることが多いようです。

寒くなければ当然できない霧氷ですが、記録を調べると早朝の気温が低すぎる日はかえって霧氷ができていない傾向がありました。山麓では風が弱く比較的穏やかな夜に霧氷ができることが多いです。(赤塚)



西丹沢の霧氷

西丹沢自然教室

宮ヶ瀬周辺の動物たち

宮ヶ瀬ビジターセンター

宮ヶ瀬ビジターセンターの周辺では、どんな動物たちが、どんな生活をしているのだろう。それを少しでも垣間見たくてビジターセンターの裏山「春ノ木丸」の登山道沿いにセンサーカメラ(自動撮影カメラ)を仕掛け、動物たちの撮影にチャレンジしました。



まつ毛まで写っています(8月9日)

宮ヶ瀬で一番多く映るのは何と言っても「ニホンジカ」。アップで写っていたり(写真左)、何かを食べていたり(写真中)、動物たちの素の姿を見られることもあります。また、撮り続けることで夏毛から冬毛への変化や角の成長など(写真中・右)の動物たちの一年の変化を追うこともでき、一つの動物を見るだけでもいろいろ発見があります。

今年3月24日～11月17日までに撮影された動物たちは、ニホンジカ、タヌキ、ニホンリス等8種類。時にやんちゃなスタッフが写っていることも…。毎回の回収



キノコは美味しいですか?(8月8日)



体は夏毛、首元は冬毛?(9月27日)

が楽しみです。

このセンサーカメラは、毎月第3日曜日に実施しているガイドウォーク「宮ヶ瀬の動物調査隊」で回収し写真の確認をしています。参加された方と一緒に動物たちの棲んでいる森を体験し、その場所に暮らす動物に写真を通して思いをはせています。興味のある方は、ぜひご参加ください!結果は、展示やHPにも掲載していますので、そちらもお楽しみください。(谷脇)

※写真のシカは同一個体ではありません。



やんちゃなスタッフ!

箱根の紅葉

木々の葉がすっかり落ちた箱根山。葉が落ちると観察しやすくなるのは樹皮、冬芽、野鳥…そしてベストシーズンだということ。を以外と知られていないのが、「^{まゆ}繭」探しです。



“すかしだわら”

一口に繭と言っても様々なものがあります。「すかしだわら」と呼ばれているクスサンの繭は網目状の俵型。とても丈夫です。蛹になっている夏から秋にかけて使われます。「つりかます」と呼ばれるウスタビガの繭は巾着型の美しい蛍光緑。天井部分は羽化する際脱出しやすいように出口があり、底には水抜き穴があります。

他にも、絹糸をとるために古くから利用されているカイコの繭など、色々なも



“つりかます”



穴の空いた「つりかます」。鳥がつついたの? 寄生蜂があけたの? 想像が膨らみます。

のがあります。種類ごとに繭の構造に工夫が凝らされていて、その造形美、構造美は見れば見るほど感心してしまいます。箱根ビジターセンター周辺でも探してみるとたくさんの繭を発見できます。

寒い冬でも、自然の中で楽しめることがたくさんあります!今年の冬は繭デビューしませんか。(須田)

ミニコラム